

2016年2月3日(水)18:00~18:30

【出席者】

取締役 常務執行役員 育薬本部長 村上 誠一
常務執行役員 広報部担当 村松 実
取締役 執行役員 経理財務部長 田原 永三
執行役員 営業本部 営業企画部長 道関 滋

【通期業績予想修正】

Q/ロイヤリティ収入について、896億円の通期予想から更に上振れる可能性があるのか。

A/前回決算時に公表した896億円の予想に対しては、30~40億円程度の上振れを見込んでいる。

Q/売上高を110億円上方修正した要因は何か。また、要因となった金額はどの程度か。

A/主な要因は、ワクチンの増収、ロイヤリティ収入の増加、長期収載品が想定ほど減少しなかったこと。金額は各々3分の1ずつ。

Q/ロイヤリティ収入を除いた損益について、どのように考えているか。

A/国内における収益力強化が課題であるとの認識の下で、構造改革などの施策を行っている。

【営業】

Q/レミケードに対するバイオシミラーの影響はあるのか。競合他社のC型肝炎治療薬がテラビックに及ぼす影響はあるのか。

A/医療環境等の変化によって影響は変わるが、バイオシミラーはシミラーであり、先行品と同一成分ではないので、昨今の低分子医薬品の後発品に見られるような大きな影響はないと考えている。また、テラビックへの影響はない。

【ラジカット/ALS 適応追加】

米国

Q/米国における申請・承認時期はいつか。

A/2016年上期の申請、2016年度中の上市を目標としている。

Q/FDAとのやり取りの中で状況が変わったのか。時間を要している理由は何か。

A/状況が変わったわけではない。申請準備にはそれなりの時間を要する。

【開発】

MT-3995

Q/欧州および日本でのフェーズ2試験の結果からPOCは取得できたと理解してよいか。

A/当社としては、POCは取得できたと考えている。

Q／今後の開発の方向性は。自社単独で開発するのか。国内外で導出先を探すのか。

A／将来的な開発計画については現在検討中。現時点では自社開発を行っているが、興味をもつ会社もあると思うので、十分考えて進める。

TA-8995

Q／アムジェン社は2016年中にフェーズ3試験を開始するのか。また、それによるマイルストーンは入るのか。

A／開発計画についてはアムジェン社に問い合わせいただきたい。また、契約内容の開示は差し控えたい。

以上